

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 一宮教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門分野の職員が1人以上配置されている。	・月1回の療育企画会議を通して、集団の運動プログラムを立案している。また、児童に応じた運動を支援するように努めている。	・運動終了後、気づいたことや課題点の情報共有を行っていく。
2	・運動学習と決まったカリキュラムがある。	・児童の混乱を招かないよう、統一した声掛けや運動学習を行っている。 ・気づいたことや改善点は、職員間で話し合いをしている。	・定期的な研修を行い、療育の知識経験等を深めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個室がない。	・クールダウンが必要な時、個室が無いため職員の休憩場所やパーテーションを利用して対応している。 ・個別対応が必要な際には、パーテーションで区切り視覚情報は遮断できるが、聴覚情報は遮断できない。	・個々の児童に応じて、クールダウンが適切な場所で行えるよう対策を考えていく。 ・職員間で声のボリュームに注意をして対応していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 一宮教室

公表日 2025年3月14日

利用児童数

18人

回収数

12人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	6	3	1	2	運動するにはもう少し広い方が動きやすいかなと思います。	・最大10名まで利用が可能ですが、子ども達の活動に必要なスペースは確保出来ております。
	2	11			1		毎日の職員の配置数は平均5名以上の配置を行っています。
	3	9			3		視覚からも理解できるように手順表を用いて、お子様が入室できる環境を整えています。 トイレが狭く、少し段差はありますがその他バリアフリー化出来ております。
	4	9			3		・毎日事業所内の清掃と消毒を行っております。 ・各活動は必要な用具以外置かないようにしております。 ・生活空間は感染症対策も兼ねて、空気清浄機、加湿器などを使用して過ごしやすい空間づくりを整えております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	12				皆さんそれぞれ対応が異なるため、一律とはいえず、現場の方々には感謝です。	
	6	11			1		・面談やアセスメントシートを元に、必要な支援項目を選択し具体的な支援内容を設定しております。 ・セラピストを中心に個々の特性に合わせた支援方法を考えて療育を進めております。
	7	12					
	8	8	1		3		・アセスメントシートの活用や面談を通して、より最適な支援計画書を作成していきます。
	9	12					
	10	8	2		2	今日は何をした？と聞くといつもと同じで返されますが、工夫されている事が子供に伝わっていないので、運動と音読の順番をくじ引きで変えらるか試してみようと思います。	・月ごとに内容を変え、活動プログラムを更新しております。 ・集団で行う活動の中でも、個々の特性やレベルにあったプログラムを作成して取り組んでおります。 ・プログラムの順番に関しては、より学習効果が得られやすいよう運動で脳の神経伝達物質を活性化させた後に学習を行っております。また具体的なプログラムの説明を保護者交流会や面談、日々のやりとりの中でお伝えしていくように努めます。
	11	4	1	1	6		長期休みを利用して、児童クラブとの交流イベントを行っていく予定です。
保 護 者 へ の	12	12					
	13	12				計画と実施後に丁寧な説明があり有難いと思います。	
	14	5	3		4		・現在は家族支援プログラムは実施しておりませんが、今後検討していきます。 ・面談などの時間を活用して相談支援に対応しています。
	15	11	1				・保護者様には、日々の活動や気づきについて送迎時や連絡帳にて必ずお伝えしております。また職員につきましては、開始前のミーティングなどで話し合い、ご利用時に適切に対応できるよう努めております。
	16	12					
	17	11				1	職員さんが移動したので新しい方とはこれから関係性が繋がっていくと思います。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	6	3		・開催出来ておりませんでした。令和7年度は開催を予定しておりますのでご参加ください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1				今後もHUGアプリやSNS、お便りを通じて活動や行事予定を積極的に発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			2		・個人情報の漏洩がないよう、書類は鍵付きのキャビネット内に保管しております。 ・書類は必要に応じてシュレッダーで裁断処理しております。今後も十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		2	ある意味保護者と共有できればと思います。	・各種マニュアルは常に教室内に開示しておりいつでも閲覧が可能です。今後はアプリ上においても閲覧可能にします。 ・各マニュアルにおける訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		1	送迎時に災害が発生した場合、高知市は慢性的な渋滞のため、アルペンさんが避難場所を決めていてもたどり着かないケースがあります。子供に聞いても「わからん」と言っていますが、大人でも正直津波避難ビルを把握していないという現状があります。よって、基本的な送迎のルート(通行止め時の迂回ルートを含む)を保護者に通知しておいて、出来るだけ津波避難ビルのマップ化をして頂ければ安心です。ただ、ルートが多岐にわたるためその労力を現場職員に一任するにはムリがあり、せいじわのわとして作成して頂ければ助かります。	・月に一度、地震、火災、洪水、送迎時を想定した避難訓練を行い送迎時や連絡帳にて情報を共有しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		・各活動は必要な用具以外置かないようにしています。 ・避難道具等の設置や月に1度の避難訓練も行ってあります。 ・外出時の安全面についても、職員間で話し合いを行い、情報共有を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2	1	1		事故や怪我の際には、直接もしくはお電話にて報告させていただいております。また、再発防止に向けて会議を行い、対応確認や環境調整につとめております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	2			土曜日は外出や外食があるので楽しいと言っていますが、平日はややマンネリ化してきて、行きたくないとは言っていますが、楽しさとも言っていません。	・「社会性とコミュニケーション能力を養い、将来の自立に向けた支援をする」というアルペン清和の理念に則り、療育の強化と活動の充実を図り、日々お子様が楽しみながら学べる環境づくりを行っております。 ・同じ内容の課題でも、クリアすると難易度がUPする仕組みとなっております。達成感を感じ、チャレンジ精神も養っていただければと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				子供が成長できたのは、アルペンの先生方のおかげです。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 一宮教室				公表日	2025年3月14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	3	2	・指定基準上のスペースは確保できています。狭い中でも安全に、活動できるよう配慮しながら支援していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・視覚からも理解できるよう手順表を用いて、お子様が生活できる環境を整えている。また現在の利用者に支障はありません。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日、事業所内の清掃と消毒を行っています。・生活空間は感染症対策もかねて、空気清浄機・加湿器等を使用し、過ごしやすい空間づくりを整えております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	・児童の特性に応じて仕切りのある部屋、静かな環境を提供しております。部屋の構造上、来客があると難しい場合もあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・定期的なアンケート調査を実施して、可能な限り業務改善につなげる努力をします。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・現時点で第三者委員会などの外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・月に1度、療育や活動プログラムの見直しを含めた会議を、職員全体で行っています。また集団で行う活動の中でも、個々の特性やレベルに合ったプログラムを作成し課題を再設定しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		長期休みを利用して、児童クラブとの交流を計画しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		・今のところ機会はありませんが、参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		現在は行っておりませんが、日曜開所などを通して保護者様同士、きょうだい同士での交流機会を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域の事業所紹介イベントに参加いたしました。	今後も地域の活動への参加を積極的に行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・初回面談時に説明し、必要に応じて面談を行い個別支援計画等にも記載します。		